

# バトンをつなぐ 空き家ものがたり

特集

市政トピックス

うだごから

まちのわだい

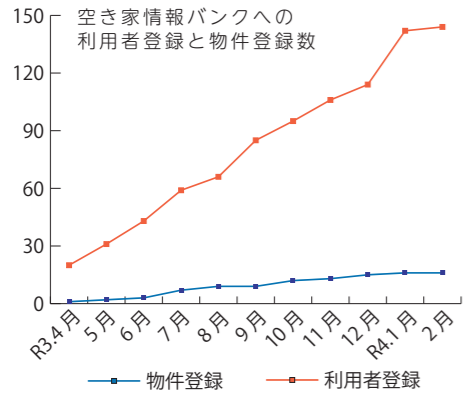
みんなで子育て

病院・ウェルネス

お知らせ

掲示板

うだちゃん



**空き家情報バンクに登録を！**

空き家情報バンクは、住まなくなった家を売買物件や賃貸物件として、市のホームページで紹介し、「家を貸したい・売りたい方」と「空き家を借りたい・買いたい方」双方の橋渡しをする制度です。

宇陀市では、平成23年度より空き家情報バンク制度を開始し、令和2年度に空き家の所有者と空き家の利用者がスムーズに連携できる仕組みを強化し、ホームページもリニューアルしました。

## バトンをつなぐために

# バトンをつなぐ 空き家ものがたり

むかしあるところに・・・人がたくさん住んで賑やかな家がありました。月日がながれ、子どもたちも大きくなり離れていきだれもいなくなった家。さみしくたたずんでいる家。そこに！新たな人がやってきた。トントントン。リズムが聞こえる。空き家だった家は立派なお店になりました。

問 地域振興課  
(☎ 82・3910 / IP ☎ 88・9094)

### 空き家情報バンク登録者の声

#### だから宇陀市に住みたい！

- 自然が多く残っている
- 環境と地域の人がやさしい
- 子育てしやすい
- どこに出かけるのもアクセス良好

#### こんな空き家を探しています！

- ▶庭つきの一軒家でのんびり過ごしたい
- ▶近くに田畑があり農業をしてみたい
- ▶家庭菜園で自給自足の生活をしたい
- ▶ペットと一緒に暮らしたい
- ▶賃貸でも購入でもどちらでもいい



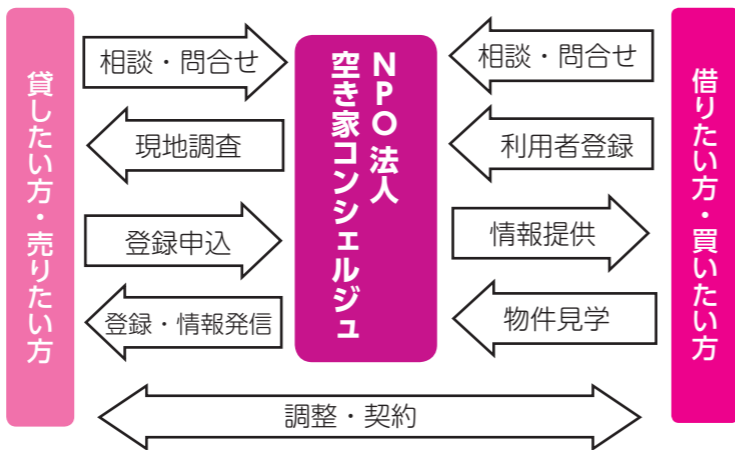
空き家情報バンク  
ホームページ



その結果、宇陀市に移住を考えている方の利用者登録は、150件を超える勢いで伸びている一方、物件登録は20件と少なく、空き家を求める方に対して物件登録数が足りず選択肢が少ないのが現状です。

大切な思い出が詰まった家を、必要とする方にバトンをつなぎ、大切に使う方もうとうとが家族や地域の元氣につながるかもしれません。

### 空き家情報バンクの登録と利用の流れ



### 空き家をお持ちの方へ

空き家情報バンク制度への登録または市内の宅地建物取引業者への情報提供をお願いします。



地域振興課 田中

地域振興課 林



地域振興課長 山口

**お気軽にご相談を！**

現在、全国の多くの自治体が人口減少問題に取り組んでおり、宇陀市も同様です。住み慣れた地域で住み続けていただくという定住の促進。また、市外から宇陀市に住まいを移していただく移住の促進。このような移住・定住施策について、様々な人、団体のお力を借りながら日々がんばっています。中でも、市内に点在する空き家に着目し、空き家の利活用を通じた移住・定住への取り組みに力を入れています。その中で分かってきたことですが、空き家を所有しておられる方は、実に様々なお悩みや課題を抱えておられます。行政として全てが解決できるわけではありませんが、まずはこの機会にご相談をいただければと思っています。

地域振興課では、宇陀を定住先・移住先を選んでいただけるよう、これからも様々な取り組みを進めていきます。

近年、人口減少や少子高齢化の進行により全国的に空き家の増加が社会問題となつていきます。ここ、宇陀市においても例外ではありません。

人が住まなくなった家（空き家）は定期的に換気や掃除をしないと急速に老朽化が進み、安全・環境など多岐にわたる問題へと派生します。しかし、そのような空き家も元は家族が暮らし、たくさんさんの思いが詰まった「住まい」だったはず。

そして、自然豊かな環境を求めて宇陀市で暮らしたいと空き家探しをされている方・・・

「住まい」であった空き家を生かすために、こうした方にバトンをつなぎませんか。

### 空き家は大切な資源

宇陀市は、「古事記」や「日本書紀」等の歴史書の中にも記載があるくらい古くからある地とされ、寺社仏閣も多く歴史や文化の豊かさをうかがうことができます。また、山地に囲まれた豊かな自然環境があり、そこで暮らす人々は自然と共生し、幸せに暮らしていました。

しかし、現在は少子高齢化による人口減少や核家族化で都会で生活するスタイルに変わっていき、次第に空き家が増え地域の生活環境に深刻な影響を与えています。

また高齢化率が高く、将来空き家になる可能性が高い「空き家予備軍」も多くあると思われます。

空き家は有効活用することで移住希望者の受け皿にもなり得る地域資源でもあります。

そして今、豊富な自然に恵まれ、また文化遺産が数多く残っている宇陀市に魅力を感じ、市外から移住したいと、空き家を求めている方が増えています。

### だけど空き家が 足りていない？





# バトンを受けた方々

市内では空き家を活用し、様々な工夫で素敵な空間づくりが行われています。バトンを受け継ぎ、起業された方々を紹介します。



特集

## DIY でこだわりの空間に

古民家でカフェを開業したいと10年ぐらいかけて県内の空き家を探していたところ、インターネットでこの古民家を見つけました。景色が開けていてとても気に入っています。

改修はフローリングや壁紙など自分たちでできる場所はDIYで行いました。工務店の方にもアドバイスをいただき、こだわりのある家になりました。こだわりと言えば店で使う器もこだわりのあるものです。皆さんお気に入りの店になるようにとの願いでchou chou (フランス語で「お気に入り」)と名付けました。

コロナ禍での開業は大変でしたが、近所の方にも声をかけていただき、助けてもらっています。



川本 節子さん・憲司さん  
【古民家カフェ chou chou (シュシュ)】  
室生向洸

自然の中でカフェを営むため移住された川本さんご夫妻。

築200年の古民家を改修し、市内県内の食材を使った手作りケーキを提供するカフェを2月2日にオープンされました。



## 豊城 政幸さん・里佳さん

【Hakkousha】  
大宇陀本郷

代表の里佳さんと、製品開発担当の政幸さん。自然の中で製品を作りたいと、兵庫県から移住され発酵食品の製造、販売事業をされています。



## 地域の方が先生です

自然の中で発酵食品を作りたいと空き家を探していたところ、導かれるように宇陀市に辿り着きました。

地域の方が生きる力と知恵をもち、いろいろと工夫して暮らしておられ、私たちにとって皆さんが先生です。

慣れない土地に住む私たちをさり気なく心遣いくださり、緩やかなつながりの中で早い段階で馴染ませていただけました。愛犬のハチも皆さんに可愛がっていただいています。

宇陀市のウェルネス事業や薬草の取り組み、発酵に適した環境や豊かな自然など可能性を秘めたまちだと感じています。



市政トピックス

うだぢから

まちのわだい

みんな子育て

病院・ウェルネス

お知らせ

掲示板

うだちゃん



## 理想の空き家に 出会いました

店舗で飲食店をやっていましたがコロナ禍の影響を受け、イベントでの出店とテイクアウト中心へ転換しようと空き家を探していました。ここは倉庫付きで店舗と住宅を分けることができ、理想的な物件でした。

近所を歩いていると声をかけてくれたり、野菜をいただいたり、親切なばかりです。

豊かな自然を活かすため鹿肉などジビエやトウキを使った料理を提供する予定で、狩猟免許を取得しました。地元の美味しいものを手軽に広めたいです。

寺本 竹次さん・胡さん  
【三本松きゅんちん】  
室生三本松

奈良市で飲食店を経営されていましたが、業態転換のため新たなキッチンを求めて移住。3月のジビエ料理を中心としたテイクアウト専門店のオープンに向けてご夫婦で準備中です。店の看板は竹次さんがデザイン、作成されたものです。



岡村 絵里さん  
【星くらジビエ】  
室生砥取

保健師・看護師でもある岡村さん。半自給自足の生活がしたいとの思いから、自ら狩猟・解体を始め、鹿と自然を求めて移住。さらに、ヘルシーで自然の良い食材であるジビエを広めたいと、倉庫を改修して狩猟体験と鹿肉等を扱う専門店をオープンされました。



## 理想の狩場を求めて

狩猟ができる場所を探していました。初めて来たときに家の周りに鹿のフンがたくさん落ちているのを見つけ「ここしかない!」と移住を決めました。

雨漏りや風呂の故障など修理は大変でしたが大家さんが好きにしていってと仰ってくれているので今もあちこち修理中です。

最初は地域に溶け込めるか不安でしたが、皆さん快く受け入れてくださり、違和感なくお付き合いしています。店舗改修の補助金も地域の民生委員さんに教えていただきました。

鹿が糞にかかったら声をかけてくれるなどいろいろ助けてもらっています。ジビエは苦手な方もおられますが、きちんと処理すればとても美味しいですよ。

## 地域の 賑わいのために

地蔵の辻の市が立ち並んでいた場所に、切妻屋根でも古市場限界では珍しい「妻入り」の明治初期に建てられた築100年以上の古民家が空き家になっていることを知ったオーナーが、再び地域に賑わいと活気が戻り、皆さんの憩いの場になればと、購入してカフェへと改修しました。

毎日近くの方が気軽に立ち寄ってくれています。



薄木 安代さん (スタッフ)  
【古民家カフェ「な・な・な」】  
菟田野古市場

南伊勢街道に面する古民家を改修し、四季を通して訪れる方や地域の方々の憩いの場となるカフェ。段差を極力なくし、展示や様々な催しを開催できるコミュニティスペースとしての利用も。地元の野菜やブルーベリーなどを使ったメニューを提供されています。